



学校だより

和歌山市立雑賀崎小学校
令和8年度 7月号

小さなステップを、たくさん重ねて



本格的な梅雨の季節を迎え、校庭の木々や草花の緑が一段と鮮やかさを増しています。早いもので来週からは7月。4月にスタートした1学期も残すところあと3週間ほどとなりました。

この3か月余りの間、子供たちは毎日の授業や係活動、友達との関わり、身の回りのことなど、様々な経験を積み重ねながら学校生活を送ってきました。新しい学年や学級での生活に少しずつ慣れ、それぞれが自分なりの歩みで成長を続けています。

私たちはつい、「できた」「できなかった」という目に見える結果に目を向けがちです。しかし、本当に大切なのは、その結果にたどり着くまでの過程だと思います。毎日の宿題に粘り強く取り組むこと、音読を何度も練習すること、苦手な計算にあきらめず挑戦すること、時間を意識して行動すること。そうした一つ一つの小さな努力が積み重なり、やがて大きな成長へとつながっていきます。これは学習だけでなく、運動や生活習慣、人との関わりの中でも同じです。思うようにいかず悩んだり、失敗してやり直したりする経験も、子供たちにとってはかけがえのない学びです。うまくいった経験だけでなく、挑戦したことそのものにも大きな価値があります。

学校で育てている花や野菜も、毎日の水やりや太陽の光を受けながら少しずつ成長しています。ある日突然大きくなるのではなく、見えない土の中でしっかりと根を張り、力を蓄えているのです。子供たちの成長も同じです。日々の小さな努力や経験は、すぐに目に見える形にはなくても、確実にその子自身の力となり、未来へとつながる大切な土台になっています。

1学期の残りの日々も、一人一人が自分のペースで小さなステップを重ね、「できるようになったこと」はもちろん、「最後まであきらめずに頑張ったこと」にも自信をもってほしいと願っています。その積み重ねこそが、これからの自分を支える本当の力になっていくはずです。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも、子供たちの成長をともに見守り、支えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

(学校長 谷口 佳都司)

◎5年社会見学[5/22(金)]



◎町探検(レモンの丘公園付近・灘の浜)
[6/4(木)・6/11(木)]

